

Part.
3

「新・時代のうつわ」コレクション展

うつわ
涼一石



うつやわ涼一石
店主 栗原浩之
〒105-0012
東京都港区芝大門2-2-8
TEL 03-3431-6320
Email info@ryoisseki.com
http://www.ryoisseki.com

今年、明治維新から150年、うつわの世界でも明治期の仕事が見直されています。やきものは時代が過ぎるほどに貴ばれる傾向にありますが、気軽には使いたくはないもの。その点、白いうつわが庶民でも使えるようになった江戸後期から明治にかけてのうつわは数もあり、まだ手の届きやすい上手のものが多く残ります。そうした「時代もの」と呼ぶには少し若い、うつわを中心に集めました。なかには昭和期に大量生産された「昭和モダン」なデザインのうつわもご紹介します。あわせて、素朴なやきものの味わいが色濃く残る「高田徳利」を約30本展示いたします。江戸末期のそれは黄瀬戸のような風合いで、かたち、土味、焼き成り、滋味深さなど、やきものの醍醐味が凝縮されているように思います。

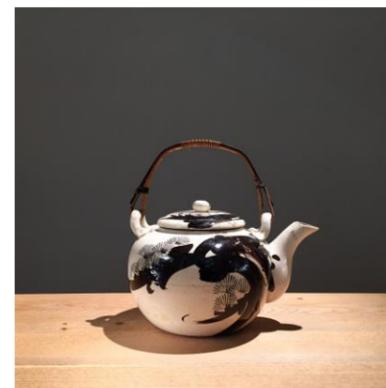
店主

うつわや
涼一石

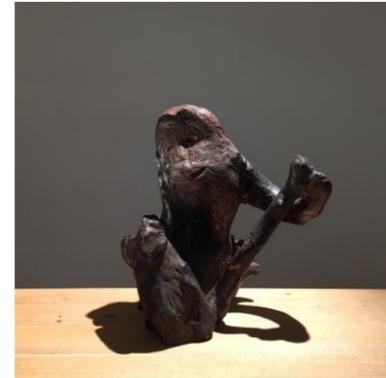
「新・時代のうつわ」コレクション展

Part.
3

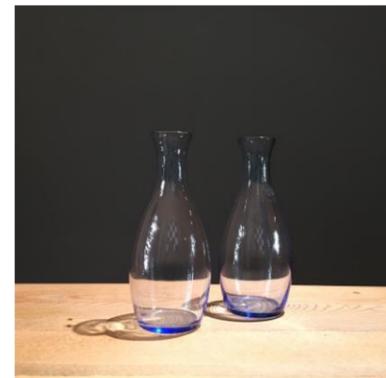
平成三十年二月十日(土)～二月二十日(火)
*二月十五日(木)は休業
営業時間 11時～19時



萬古焼急須(統制陶器・万66)



手彫り猿(樹瘤)



ガラス瓶(昭和時代)



花鳥文小皿(江戸時代)



色絵くらわんか皿(五客組)



染付長皿(八客あり)



高田徳利(江戸末～明治時代)